

楽しい距離の保ち方

JavaScript in GWT

KISSAKI.Inc toru_inoue



Who am I?



横浜で株式会社やってます。 スマフォ向けのサービス作ってます。 WP7とか、iOSとか、HTML5とか。

Why GWT?

(どうせ他の人が散々言ってるでしょうし)

☆全プラットフォーム貫通させる為に、 Webビューで全部終らせる

☆全プラットフォーム貫通させる為に、 Webビューで全部終らせる



- ・既存のJS資産を効率的に使用する
 - 新しいコードを足し易くする
 - ・環境差に翻弄されない

- ・既存のJS資産を効率的に使用する
 - 新しいコードを足し易くする
 - ・環境差に翻弄されない

Today!

- ・既存のJS資産を効率的に使用する
 - ・新しいコードを足し易くする
 - ・環境差に翻弄されない

(JavaScriptNativeなんとかInterface)

```
private native JavaScriptObject get () /*-{
    alert("このまま眠り続けて死ぬ");
    return @com.kissaki.client.MessengerGWTCore.(略)::mtd(Ljava/lang/String;);
}-*/;
```

☆GWT内でJSのコードを書き、メソッドとして実行出来る

(JavaScriptNativeなんとかInterface)

ヤル気の無い記法解説

修飾子(native) 宣言開始(/*-)

private native JavaScriptObject get () /*-{

alert("このまま眠り続けて死ぬ");

return @com.kissaki.client.MessengerGWTCore.(略)::mtd(Ljava/lang/String;);

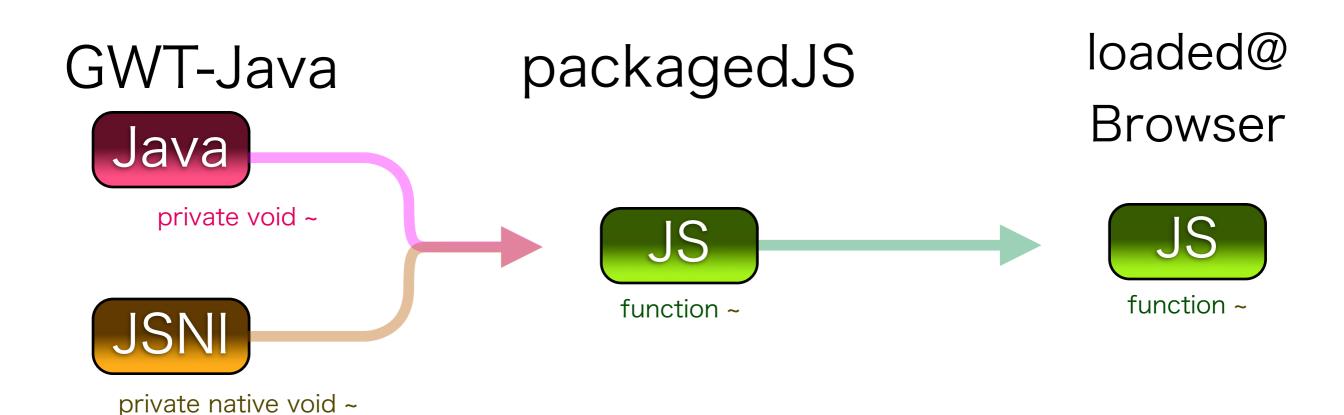
}-*/;

· 宣言終了(-*/;) この辺にJSでいるいる書ける。 ここでは、mtdファンクションを返す、 という実装を書いてる

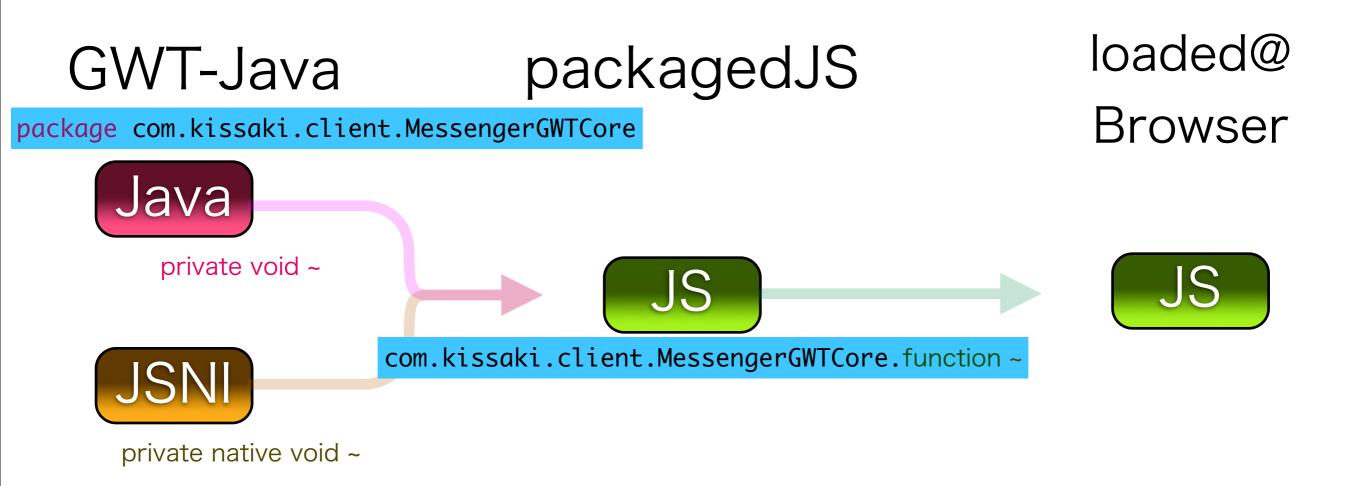
(JavaScriptNativeなんとかInterface)

☆GWT内でJSのコードを書き、メソッドとして実行出来るって言ったけど、具体的にどうなってんの

↓みたいな変換が起こってる。



(JavaScriptNativeなんとかInterface)



最終的なJSのメソッドについて、

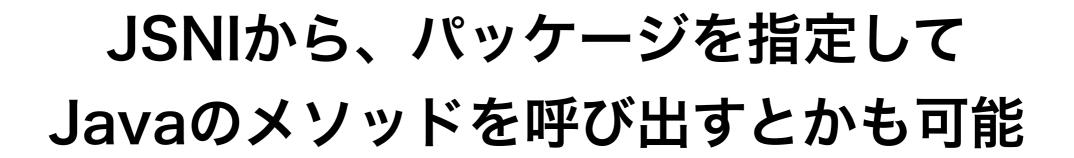
・名前空間はパッケージ単位で独自になってる(Javaからの良いトコ取り)になっている。これで、名前空間の衝突とか回避してる訳だ。

(JavaScriptNativeなんとかInterface)

・名前空間はパッケージ単位で独自になってる(Javaからの良いトコ取り)

なので、

```
private native JavaScriptObject get () /*-{
    alert("このまま眠り続けて死ぬ");
    return @com.kissaki.client.MessengerGWTCore.(略)::mtd(Ljava/lang/String;);
}-*/;
```



(JavaScriptNativeなんとかInterface)

```
private native JavaScriptObject get () /*-{
    alert("このまま眠り続けて死ぬ");
    return @com.kissaki.client.MessengerGWTCore.(略)::mtd(Ljava/lang/String;);
}-*/;
```

JSNIから、パッケージを指定して Javaのメソッドを呼び出すとかも可能



本題

```
private native JavaScriptObject get (色々) /*-{
    var p = $wnd.Processing(canvas, aCode);
    p.size(320,480);
    p.background(0);
}-*/;
```

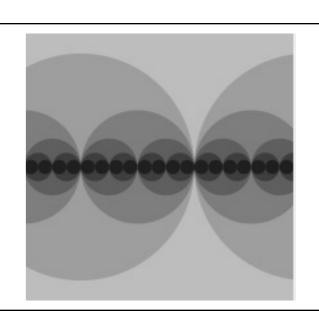
JSNIから、jQueryとか ProcessingJSとか Threeとか Box2Dとか呼べるんじゃねーの

本題

```
(いるいるチョーーメンドクサイけど)
呼べる....!!
呼べるぞ....!!
```

```
private native JavaScriptObject get (色々) /*-{
    var p = $wnd.Processing(canvas, aCode);
    p.size(200,200);
    p.background(60);

p.fill(125);
    p.ellipse(100,100,100,100);.....
}-*/;
```



でもさ、 これ、 毎回JSNIで書くの?

本題

```
private native JavaScriptObject get (色々) /*-{
    var p = $wnd.Processing(canvas, aCode);
    p.size(320,480);
    p.background(0);
}-*/;
```

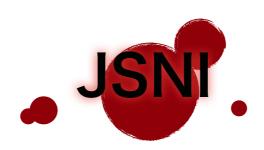
GWTなのに、JS書いてるのと変わらん。 勿論デバッグも同じような感じに成る。 飛び込んでからどう死ぬか、という観測に時間喰う。 なのに、

> 毎回JSNI書くの?????? バカなの?死ぬの?

本題と(途中)結果

```
private native Jav Scrip ject get (色々) /*-{
     p.size(320,4%);
p.backgroum (0),
  }-*/;
```

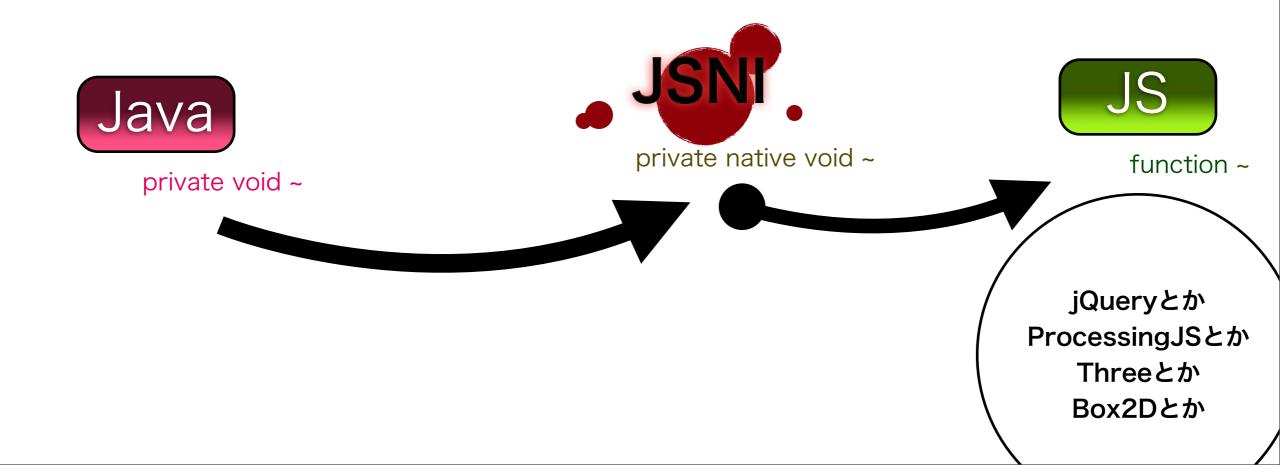
なら、どうする



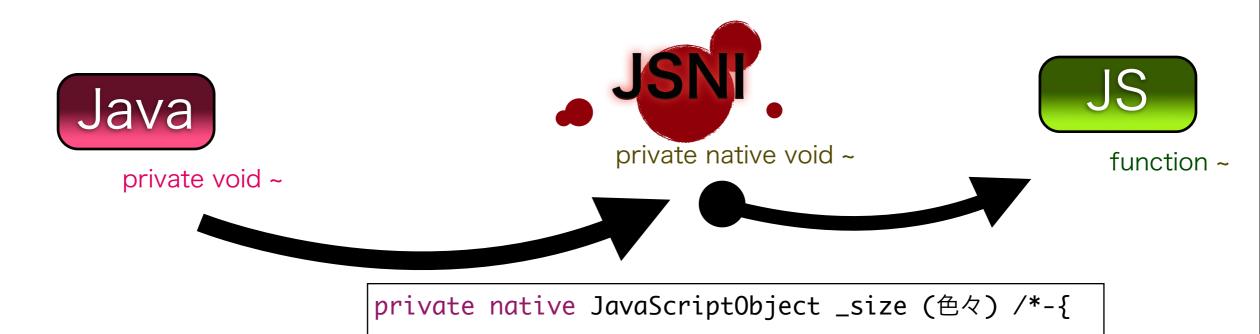
に触らず、Javaで.jsにアクセス出来ると嬉しい。

JSと1対1対応する<u>JSNIメソッド</u>を書き、 それをJavaから叩けば良い なら、どうする。

JSのFunctionと 1対1対応する<u>JSNIメソッド</u>を書き、 それをJavaから叩けば良い



なら、どうする。



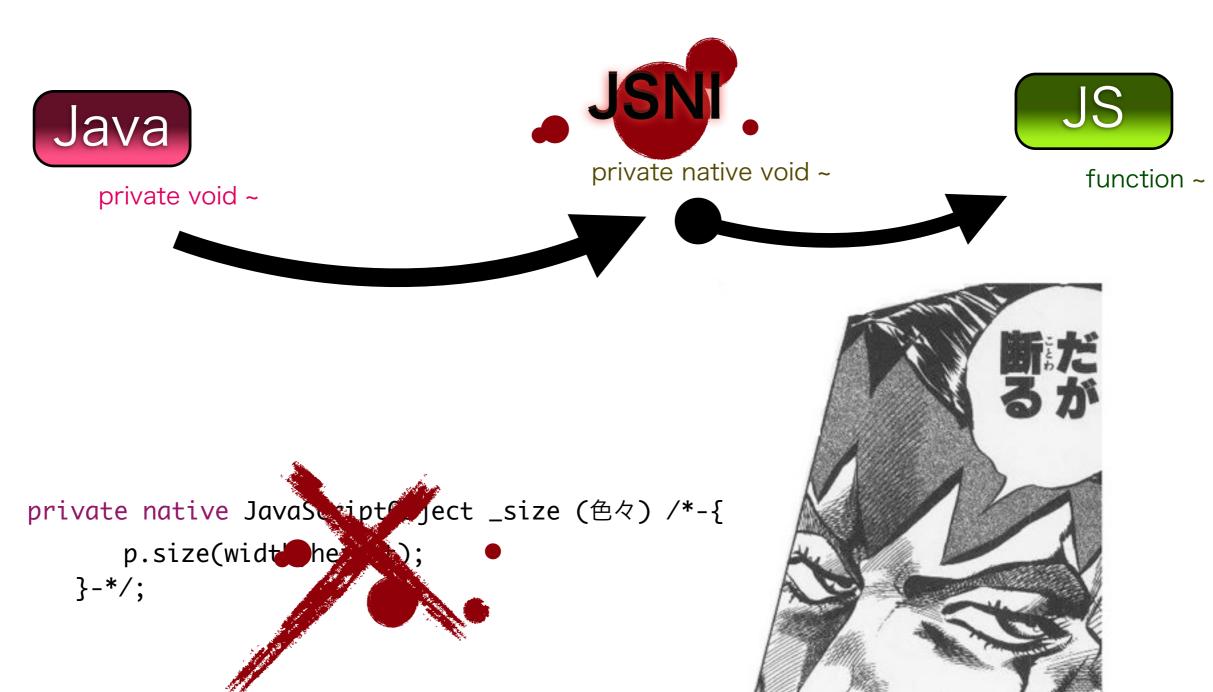
p.size(width,height);

"JSと1対1対応する<u>JSNIメソッド</u>を書き、 それをJavaから叩けば良い"だと?

}-*/;

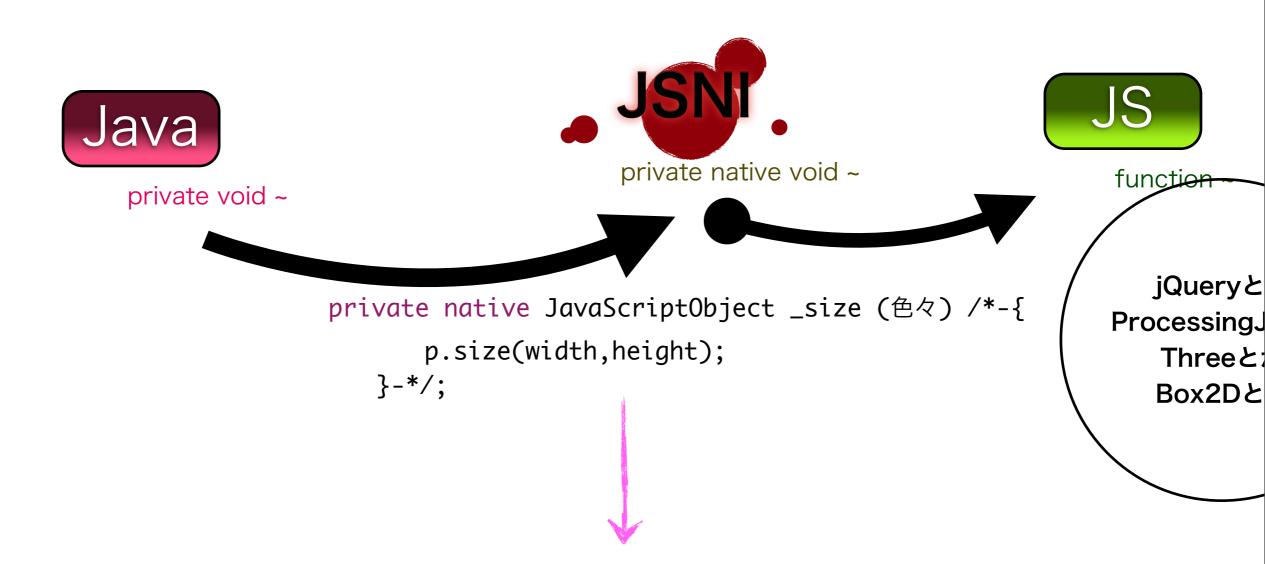
手で書くの?

なら、どうする。



ですよねーw

本題と結果



JSを与えると、こいつを**サー**する =<u>JSNI入りのGWTJavaソースを吐く</u> ジェネレータ作りました。

JSを与えると、JSNI入りのJavaを**サイナン**する ジェネレータ。

元ネタ:





Rhino JavaScript Compiler

概要

JavaScript コンパイラは、JavaScript ソースを Java クラス・ファイルへと変換します。

↑とのことなので、 利用させてもらいました。

(超手短に)手法:

Rhino(mozilla)

https://developer.mozilla.org/ja/Rhino

こいつが、JSファイルを実行する為に行っている手段に着目。

JS→構文解析→Javaのクラスファイルを直に書き出す

ここね。

構文解析からJavaのクラスに書き出す途中に、構文に対しての型精査や数、名前等、メソッド、パラメータに関する情報がある筈、、だ。

→ありました。

というわけで、**処理を一部ブリッジ**して、

JS→構文解析→**GWT用のJSNIが記述されたファイルを吐き出す**

という魔改造をしたRhinoが、RhinoForGWTになります。



Processing.js

A port of the Processing Visualization language to JavaScript.



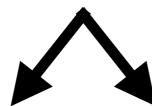
jQuery

Comprehensive DOM, Event, Animation, and Ajax JavaScript Library.













Javaのメソッド集実装と、 そのInterfaceを吐きます

ProcessingImplements.java

ProcessingInterface.java

現行バージョンの性能

対応:

- ・メソッドのJSNIハンドラ自動作成
- ・パラメータ名の一致
- 型チェック
- ・JSのファンクションのargumentによる素敵オーバーロード (増パラメータのバリエーション種類分Javaメソッド作成とかやってる) に対応。

最新バージョンの置き場

リポジトリ:

https://gitorious.org/rhinoforgwt

ライセンス: MITLicense

対応:

- ・メソッドのJSNIハンドラ自動作成
- ・パラメータ名の一致
- ・型チェック
- ・JSのファンクションのargumentによる素敵オーバーロード (増パラメータの種類分Javaメソッド作成)

に対応。

USAGE

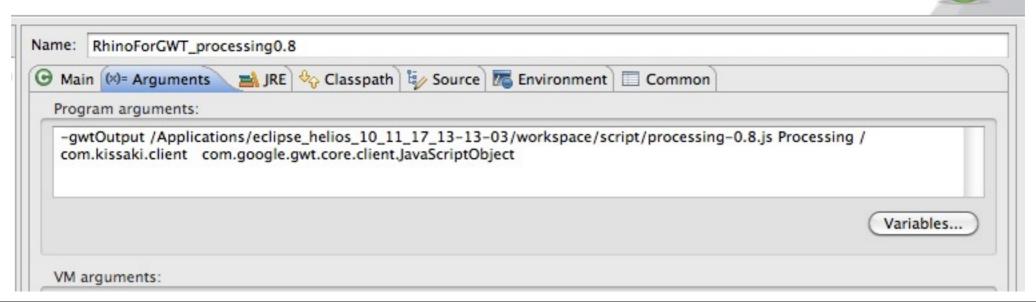
①リポジトリ:<u>https://gitorious.org/rhinoforgwt</u>
https://gitorious.org/rhinoforgwt/rhinoforgwt/archive-tarball/master
からファイルDL

②DLしたプロジェクトをEclipseにimport

USAGE

③実行コンソールに、コマンドを指定
-gwtOutput ソースJS 出力クラス名 出力場所 追加import宣言
com.google.gwt.core.client.JavaScriptObject

Ex:-gwtOutput /Applications/eclipse_helios_10_11_17_13-13-03/workspace/script/processing-0.8.js Processing / com.kissaki.client com.google.gwt.core.client.JavaScriptObject



USAGE

④実行! (jarでも実行出来ると思うよ! 俺はいやだけど。)

出来上がったファイルがコチラ



ProcessingImplements.java



ProcessingInterface.java

これ手で書くと



ってなるよねー。

```
◆ ► ☐ ProcessingImplements.java:
                                                                                                                         U- - C- #- 0
      public void lightFallof
         lightFalloff(consta
      private native String _lightFalloff(String constant, String linear, String quadratic)/*-{
         this.@com.kissaki.client.ProcessingImplements::getInstanceOfJSObject()().lightFalloff(constant, linear, quadratic);
     }-*/;
      public void lightSpecular(String r, String g, String b){
         _lightSpecular(r, g, b);
      private native String _lightSpecular(String r, String g, String b)/∗-{
         this.@com.kissaki.client.ProcessingImplements::getInstanceOfJSObject()().lightSpecular(r, g, b);
     }-*/;
      public void spotLight(String r, String g, String b, String x, String y, String z, String nx, String ny, String nz, String angle, Str
         _spotLight(r, g, b, x, y, z, nx, ny, nz, angle, concentration);
      private native String _spotLight(String r, String g, String b, String x, String y, String z, String nx, String ny, String nz, String
         this.@com.kissaki.client.ProcessingImplements::getInstanceOfJSObject()().spotLight(r, g, b, x, y, z, nx, ny, nz, angle, concentr
     }-*/:
      public void camera(String eyeX, String eyeY, String eyeZ, String centerX, String centerY, String centerZ, String upX, String upY, St
         _camera(eyeX, eyeY, eyeZ, centerX, centerY, centerZ, upX, upY, upZ);
      private native String _camera(String eyeX, String eyeY, String eyeZ, String centerX, String centerY, String centerZ, String upX, Str
         this.@com.kissaki.client.ProcessingImplements::getInstanceOfJSObject()().camera(eyeX, eyeY, eyeZ, centerX, centerY, centerZ, upX
     }-*/;
      public void camera(String cameraOverloaded_0){
         _camera(cameraOverloaded_0);
      private native String _camera(String cameraOverloaded_0)/*-{
         this.@com.kissaki.client.ProcessingImplements::getInstanceOfJSObject()().camera(cameraOverloaded_0);
     }-*/;
      public void perspective(String fov, String aspect, String near, String far){
         _perspective(fov, aspect, near, far);
```

で、(1)

もちろんあるぞ!! 現在の問題点。 なんたって、1年以上前に書いたやつだからね!!

・パラメータの型チェックが甘い

数字か、JavaScriptObjectか、Stringになる。

Eclipse使って型のリファクタリングを行うことがめっちゃ多い。

数値、doubleとint、とかが判別できない。これは限界ある。

オブジェクトは大体JSObjectかStringになる。JSObjectは扱いが面倒いのでStringに寄るようにしてある。

→どの型を優先するか、設定ファイルで設定出来る。だが面倒い。

・戻り値がない

JSNIレベルでは戻り値を返しているんだが、returnを書いてない。これは、すぐに改善出来る部分。

で、(2)

・インターフェースが最悪

コマンドラインが基礎なので、正直俺も面倒い。

なので、せめてEclipseプロジェクトにしてるのだが、なんというか、やはり面倒い。 簡単なAppleScriptとかと一緒に配布しようかなって。

ここで俺に電流走る



☆サーバで走らせればみんな幸せになるとおもう。

→GAEとかで走らせられるかもね!! よく考えたら!!

JSを放り込むと、GWT用のJavaとかを返してくれるサイト。だれか手伝って。 ぶっちゃけRhino はGAEで動くとの事なので、インターフェース作れば終わりくさい。

それはさておいて、最終目標

・ 真面目に考える最終目標:

最終出力物として、JSを自動的に.jarにしてくれるやつを作りたい。 外部jsファイルや生成されたjavaを組み込むというのが面倒いので。

- ・jarファイルにしておけば、jsファイルをハンドルせずにすむ。
- ・js + java → .jarファイル になる。
- ・jarライブラリとしてビルドに巻き込めれば、名前空間の心配も消える。

これは素敵。



ハンズオン部分

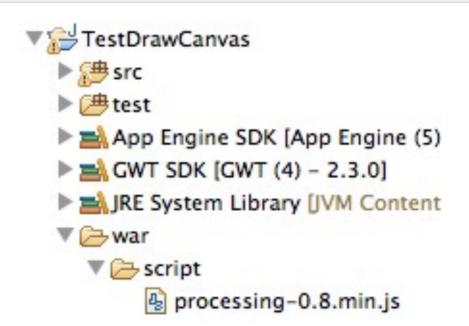
```
/**
    * This is the entry point method.
    */
    public void onModuleLoad() {
    }
}
```

プロジェクト適当に作って、 onModuleLoadメソッドを 空になるまで**親のカタキのように**痛めつけます

スクリプトを読み込むように、設定ファイルに記述。

2

読み込む用のスクリプトを、warフォルダ内に置いときます ここでは、scriptというフォルダを作ってその中に(ry



http://processingjs.org/content/download/processing-js-0.8/processing-0.8.min.js

スクリプトを読み込むように、設定ファイルに記述。

3

プロジェクト名.gwt.xml

moduleの項に、下記を追加

<script <u>src</u>="/script/processing-0.8.min.js"></
script>

```
4
```

```
Canvas canv = Canvas.createIfSupported();
canv.setWidth(200 + "px");
canv.setHeight(200 + "px");
canv.setCoordinateSpaceWidth(200);
canv.setCoordinateSpaceHeight(200);

RootPanel.get().add(canv);//画面へのキャンバス要素のセット

CanvasElement canvE = canv.getCanvasElement();
canvE.setWidth(200);
canvE.setHeight(200);
```

onModuleLoadメソッドにキャンバスのソースを書き込み

```
5
```

ProcessingJSのコード書き込み

```
ProcessingImplements p =
    new ProcessingImplements(canvE, "");

p.size("200","200","");
p.ellipse("100", "100", "40", "40");
```

自動変換でアレな所を、、手で直す、、、、!!

ProcessingImplementsメソッドの第一引数の型を、 String → JavaScriptObject に変える。

Eclipseの自動補完にやらせると、JSNI内の引数の名前が変わらずにエラーが出る (まあ、、 気づけるレベルだけれど、、、)

このへんは、自動変換の精度を上げて行けば、何とかなるんだが、、。

↓起動でこんなカンジ。

